

校訓	真善美	平成28年度学校だより	発行日	平成28年12月22日
教育目標	自主、自立、感謝の精神を抱き、 未来を拓く生徒の育成 —豊かな心、確かな学力、健やかな体を育てる—	「荒中だより」 第31号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 難波 重之

平成28年度第2学期終業式式辞

皆さん、おはようございます。暑い夏に始まった2学期、穏やかな実りの秋を過ごし、蓄^{たくわ}えの冬がやってきました。5つの月にまたがった長い2学期が今終わろうとしています。

始業式に、オリンピックのことを例に、仲間と協力して行事を成功させて欲しいと話しました。皆さんにとって、この2学期はどうだったでしょうか。



始業式後すぐに行われた修学旅行では、地元の方々と温かい交流をし、平和について深く考えることができました。体育大会では、グラウンドいっぱいに元気と団結、絆を表現しました。学習発表会では、クラスみんなが一つになり美しいハーモニー^{かな}を奏でました。

先日の2年生の校外学習では、よく協力し節度ある班行動ができました。個々には色々と反省もあるでしょうが、全体としては、どの学年もそれぞれの行事に力いっぱい取り組めたと思います。

また、部活動などでは、先輩からバトンを受け継いだ2年生が中心となり、様々な大会や発表会で活躍しました。この冬の間に、**次の目標に向かい日々精進し、さらなる成長を期待**します。

さて、広く世界に目を向けると、6月には、イギリスが国民投票によってEUを離脱することになりました。また、11月には大方の予想を覆^{くつがえ}し、トランプ氏が来年1月からアメリカ合衆国第45代大統領になることが決まりました。イギリスのEU離脱や他国との経済連携^{れんけい}協定で

あるT P Pからの脱退を唱えるトランプ氏の当選は、この二つの大国で自国の利益を優先する内向きな政策が今後進むことが予想される出来事でした。

しかし、**世界のグローバル化は確実に進んでいます**。修学旅行で訪れた太宰府天満宮への参道は、日本語がかき消されるくらい外国語にあふれていました。また、日本を訪れる外国人の数は、2000年にはおよそ500万人だったのが、今年は2000万人を超え、東京オリンピックが開催される2020年には4000万人に達すると言われています。

グローバル化が進む社会では、コミュニケーション能力は大変重要だと言われています。グローバル化に対応したコミュニケーション力を高めるために、英語力を磨くことはもちろんです。さらに、荒牧中学校が力を入れている**協同学習を取り入れた授業**や週2回の**コミュニケーション・トレーニングに前向きに取り組んでください**。

こういった取り組みを継続して行うことで、コミュニケーション力は確実に高まりこれからの社会で必要な力が備わっていきます。



さて、明日から冬休みです。三者懇談を終え、3年生は進路の方向性も定まったことだと思います。今からはもう迷わず、ただひたすらに勉強する時です。これから先、人生の岐路に立ったとき、『勉強でつけた力』と『将来の目標』が、皆さんの『進むべき道』を必ず示してくれるはず

です。テレビなどを控え、お正月を返上してひたすら勉強に励んでください。

話はかわりますが、先日一年間放送されてきた『真田丸』が終わりました。私は毎週とても楽しみにしていました。そのドラマの中で、主人公である真田信繁さなだのぶしげの生き方の信条と



して、「**望みを捨てなかった者にのみ 道は開ける**」というセリフが何
度も出てきました。私は、信繁が**どんな窮地**にあっても、その置かれた
状況の中で腐ることなく**最善を尽くす姿**に感銘を受けました。

望みは全て叶うとは限りません。しかし、**望みを捨てず努力すること
で、次どうすればよいか見えてくる**と思います。『**努力は裏切らない**』と
信じて、勉強に、部活動に最後まで取り組んでください。

最後になりますが、皆さんが新年を気持ちよく迎え、3学期の始業式に
は元気にこの体育館に集まってくれることを願い、
2学期終業式の式辞といたします。



税の作文（伊丹納税貯蓄組合連合会 応募総数 3,173 編）

植松朱里「納税について考えたこと」兵庫県阪神北県民局長賞

長野未来「税を知ることは、未来を考えること」

伊丹納税貯蓄組合連合会会長賞

自信と誇りを持てる学校を創ろう!!